

○学会発表○

1. 塩入俊樹. DSM 診断基準における不安症の変遷:半世紀の流れの中で, 第 10 回 日本不安症学会 教育講演; 東京: 3/16.
2. 塩入俊樹. パニック症難治例はなぜ難治なのか:その治療には何が必要か, 第 10 回 日本不安症学会 シンポジウム; 東京: 3/17.
3. 塩入俊樹. 不安を伴ううつ病の診断と治療のコツ:治療初期の不安のマネージメント, 第 59 回 日本心身医学会総会 ランチョンセミナー; 名古屋: 6/8.
4. 塩入俊樹. 我が国におけるパニック症及び社交不安症の治療ガイドラインについて, 第 114 回 日本精神神経学会学術総会 シンポジウム; 神戸: 6/21.
5. 塩入俊樹. パニック症における良好な予後のための治療導入の実践, 第 114 回 日本精神神経学会学術総会 シンポジウム; 神戸: 6/21.
6. 恒川幸司, 鈴木康之, 村上啓雄, 清水雅仁, 塩入俊樹. 医学生の在学時評価と初期研修時評価との関連性 - シームレスな IR の取り組み, 第 50 回 医学教育学会大会; 東京: 8/4.
7. 塩入俊樹. うつと不安の見分け方と仕分け: その歴史と変遷から考える, 第 3 回 医療心理懇話会集会 教育講演; 東京: 10/4.
8. 高井健太郎, 武藤恭昌, 杉山俊介, 深尾 琢. 悪性症候群の遷延する意識障害に対して電気痙攣療法が著効した 1 例, 第 176 回 東海精神神経学会; 津: 2/26.
9. 深尾 琢. 境界例治療には禁制の理解が不可欠である, 第 114 回 日本精神神経学会学術総会; 神戸: 6/21.
10. 西尾彰泰, 堀田 亮, 山本眞由美. 入学時の心理スクリーニング結果と在学中の保健管理センター受診の関係, 第 40 回 大学メンタルヘルス学会総会; 岡山: 12/6.
11. 西尾彰泰, 丸谷俊之, 堀田 亮, 山本眞由美. プノンペンとシエムリアップにおける精神病未治療期間の長さの比較, 第 33 回 日本国際保健医療学会学術大会; 東京: 12/1.
12. Marutani T, Nishio A, Nozaki A, Fuse-Nagase Y. Quality of life and living conditions of family caregivers of patients with schizophrenia in Cambodia, The 18th International Congress of The Pacific Rim of Psychiatrists; Yangon: 10/27.
13. Nishio A, Marutani T, Horita R, Yamamoto M. Comparison of duration of untreated mental illness or psychosis between Phnom Penh and Siem Reap in Cambodia, The 18th International Congress of The Pacific Rim of Psychiatrists; Yangon: 10/27.
14. 西尾彰泰, 堀田 亮, 加納亜紀, 栗木由美子, 今村七菜子, 山本眞由美. 休学・退学・留年と Sense of Coherence(SOC)の関係についての分析, 第 56 回 全国大学保健管理研究集会; 東京: 10/3.
15. 堀田 亮, 西尾彰泰, 山本眞由美. 外国人留学生と日本人学生の精神的健康度の比較 - Counseling Center Assessment of Psychological Symptoms-62(CCAPS-62)を用いた検討 -, 日本心理臨床学会第 37 回大会; 神戸: 8/30.
16. Horita R, Nishio A, Yamamoto M. Differences in Psychological Distress between International Students and Japanese University Students, American College Health Association Annual Meeting 2018; Washington DC: 5/31.
17. 高橋隆夫. 精神病症状を呈して以来,通院を継続している症例の長期経過について, 日本精神病理学会第 41 回大会; 神戸: 10/5.
18. 岡 琢哉, 石川信一, 渡辺範雄, 笹森洋樹, 桑原千明, 山口穂菜美, 齊藤 彩, 近藤和樹, 丸尾和司, 神尾陽子. 小学校におけるメンタルヘルス予防プログラムの有用性に関する研究, 第 10 回 不安症学会; 東京: 3/16.
19. Ooka M, Oka T, Matsuo Y, Saito K, Ebishima K, Kuge R, Hiratani M, Ogino K. A new picture- book style rating tool is feasible for children with attention deficit hyperactivity disorder to reveal their self-understanding, 23rd World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions; Praha: 6/23-6/27.
20. Ooka M, Oka T, Matsuo Y, Saito K, Ebishima K, Kuge R, Hiratani M, Ogino K. Comparison between self- and proxy-reported behaviors in children with attention deficit hyperactivity disorder using a picture-book style tool, 23rd World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions; Praha: 6/23-6/27.
21. 城月健太郎, 児玉芳夫, 中尾睦宏. 社交不安症に対する個人認知行動療法プログラムと自己評価の変容, 第 25 回 日本行動医学会学術総会; 徳島: 12/8-12/9.
22. 野田昇太, 大川 翔, 城月健太郎, 笹川智子. マインドフルネス特性が社交不安症状に影響を及ぼすプロセス - 自己注目を媒介要因として -, 第 25 回 日本行動医学会学術総会; 徳島: 12/8-12/9.
23. 大川 翔, 城月健太郎, 笹川智子, 清水栄司. 社交不安,評価に対する恐れ,ポジティブな社会的出来事の否認の関連, 第 44 回 日本認知・行動療法学会大会; 東京: 10/26-10/28.
24. 野田昇太, 大川 翔, 城月健太郎, 笹川智子. Self-Focused Attention Scale(SFA)日本語版の開発, 第 44 回 日本認知・行動療法学会大会; 東京: 10/26-10/28.